

神  
中

# 神奈川の風

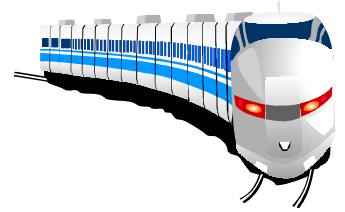


平成27年5月15日号

校長 吉江 明洋

## <修学旅行日記 第一日目>

5月11日(月)天候は晴れ。朝の通勤時間帯で混み合う新横浜駅前広場に7時20分の集合も、誰一人として遅刻することなく集合完了。出発式後に8時03分発<修学旅行団体列車>に無事に乗車。



これからの期待で少々興奮気味の車内でしたが、絶景の富士山を眺めたりしながら、あっという間の2時間11分の新幹線の旅で京都駅に到着。

京都の天候は晴れ。気温27度で、下車したとたんに蒸し暑さを感じる陽気。朝の新横浜が肌寒いほどだったので、少々びっくりしながらも、1897年開業のJR嵯峨野線ホームに移動して、一般客も同乗の6両編成の電車に乗り換えて鶯の鳴く、嵯峨嵐山駅に到着。

渡月橋が見える「レストラン嵐山」で、和・洋・中のバイキング昼食で満腹。京のおばんざいや、豆腐や湯葉などのコーナーもあり、京都らしいメニューも豊富でしたが、各自のプレートを見ると、スパゲッティーや唐揚げに海老フライなどが人気で、せっかくの京都らしい食材は人気薄なのが残念。

昼食後は、大堰川に架かる渡月橋をバックに学級写真を撮影。ちなみに、渡月橋から上流を保津川、下流を桂川と呼び、橋を境に名称が変わることを知っていたでしょうか。

13時15分から班別散策の開始。天竜寺・清涼寺・竹林の径・野宮神社など、事前に各班で設定したコースを巡って、最終の中之島公園に集合したときは全員がうっすらと日焼け顔。班内で互いを気遣いながら時間を守って行動する様子が見えて、さすがは3年生と感心。



ここからは、宿舎を目指してガイドさんの解説を聞きながら右や左に顔を忙しく動かして40分のバスの旅。時間通りの5時30分に京都北区の山栞にある「然林房」に到着。宿の女将さんや従業員さんが笑顔で掲げる京都弁の歓迎横断幕がお出迎え。入室して旅装を解き、ほっと一息。

疲れをいやす入浴の後は19時30分からお待ちかねの夕食。ビーフシチュー、サーモン・海老・イカのシーフードたれ焼き、大根ツナサラダ、ご飯に赤だし味噌汁にデザートが付いた海の幸御膳をおいしくいただきました。

その後は、学級活動・新聞記事の下書き・栞記入と予定をこなし、就寝準備から22時に消灯して就寝。疲れているはずですが、なかなか眠らずそっと注意を受ける部屋もちらほら。

充実した一日が終わりましたが、明日の天候や生徒の健康を気遣いながら、先生方は、君達の安全確保や緊急対応に備えて朝晩交代でじっと我慢の不寝番。京都の夜は静かに更けていくのでした… zzz。

(次号に続く)